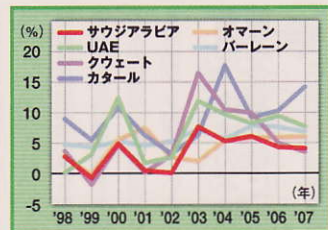


# 中東の「スリーピングジャイアント」 サウジアラビアに潜入!

**B** RICS、VISTAに続く投資先として注目を集めているMENAとは「Middle East and North Africa(中東・北アフリカ)」地域のこと。その中でも特に注目されているのは、アラブ首長国連邦(UAE)のドバイだ。が、『ドバイ株投資完全マニュアル』の著者・石田和靖氏によると、「ドバイの人が脅威を感じている国がある。それが彼らが『スリーピングジャイアント(眠れる巨人)』と呼ぶサウジアラビアです。だから一度実際に見てみたくて。そうしてサウジアラビアに降り立った石田氏に手荒い歓迎が……」

「到着ロビーに出たらいきなり背の高い黒人に囲まれて、勝手に荷物を持っていかれるんですよ」その黒人たちは出稼ぎに来たスーダン人やイエメン人。「現地の日本人に『タクシーに乗らないほうがいい』って言われてたんで必死に断りました。街の雰囲気も閉鎖的で、すぐにドバイとは違うことに気づきました」

手配していた運転手付きレンタカーで街へ出ても……。



GCC6国のGDP成長率推移  
カタールやUAEには負けるが、サウジも過去5年は安定した成長を遂げている

しかし、石田氏はそこにサウジの可能性を見いだした。「僕が最初にドバイに行ったとき、それに比べるとサウジの首都リヤドには高層ビルは2つだけで、まだまだ発展していない。でも、今は経済特区や都市開発のために国家規模で14兆円、官民合わせて100兆円の開発プロジェクトが計画されています。さらに、石油や天然ガスが豊富で国の財政はいいし、食糧も水も自給している。しかも、株式市場は'80年代からあって、時価総額は40兆円とドバイの4倍。現在はGCC(湾岸協力会議)6か国の居住者以外は株を買えません。WTOにも加盟している。世界的な要請にこたえて開放するはず。そうなれば、割安な株が適正価格に戻るだけで2〜3倍になるポテンシャルがある」

「カメラで撮影しようとするとうウジ在住25年というインド人ドライバーが『ムタワに捕まる』と止めるんです。ムタワというのは宗教警察で、イスラムの戒律で人や建物を撮影するのはよくないというので、見つかるとう逮捕、拘束されることもある。ドライバーは『ムタワに逆らうと殺される』とすこく怖がっていましたね」

「このファンドにはサウジ10%、UAE12%の割合で組み込まれている。'07年8月末の設定だが、すでに10%以上上昇している。でも、もし株式市場が開放されれば……」

「もちろん日本人で最初に口座を開設してサウジ株を購入します。'08年には実現すると思うので、またエン・スパで報告します!」

『ドバイ株投資完全マニュアル 企業情報編 特選30銘柄』  
石田氏とナショナルバンク・オブ・アブダビのファンドマネジャー、デビッド氏がドバイの企業情報を解説!



石田和靖氏  
日本初のドバイ株投資本の著者で冒険投資家。海外投資SNS「World Investors」主宰。ブログ「香港資産運用日記」(http://kowlon.livedoor.biz/)も好評



財閥企業・ファイサリーヤグループのビル



写真上のリヤドで一番の高層ビルはキングダムホールディングスの所有。写真下はその100階の展望台からの眺め。街はキッチリと区画整理されているようだ

## 2つの聖地を持つ イスラム圏のリーダー

カメラ撮影で逮捕される国に投資しても大丈夫なのだろうか……。「イスラム圏ではドバイのほうが異質なんだと感じましたね。特にサウジアラビアはメッカとメディナという2つの聖地を守っているイスラム圏のリーダー的存在。こんな国で経済発展が可能なのかと、僕も最初は疑問に感じました」

## 日本唯一のMENA ファンド発売中!

8月末に設定された「シュローダーMENAファンド」は、日本で唯一、MENA地域の株式に特化したファンド。想定ポートフォリオはサウジ10%、UAE12%、クウェート12%、イスラエル14%、トルコ18%、エジプト15%など。基準価格は2か月半で10%以上上昇(11/19現在)



## シュローダーMENAファンド

http://www.daiwa.jp/products/fund/mena/  
10万円以上1円単位で購入可能。申し込み手数料は1000万円未満3.15%。信託報酬などは目録見書参照。大和証券ネット口座のみで販売中